

## 「初生地すべり現場講習会-新潟県一ツ峰沢-」の報告

事業企画委員会

日 時：平成 20 年 11 月 1 日（金）

場 所：新潟県一ツ峰沢

主 催：日本応用地質学会事業企画委員会・地すべりの初生と評価に関する研究小委員会

講 師：井口 隆（防災科研），上野将司（応用地質），野崎 保（アーキジオ）

近年、特に地震の際に確認されている地すべりとして、過去に滑動した経験のない初生すべりが知られています。初生すべりは地形的に不明瞭であるため抽出が困難であることが多く、抽出された場合もすべり面がまだ形成されておらず、現状の安定性を定量的に評価する方法の確立が求められているのが現状だと思われまます。今回の現場講習会では、新潟県中越地震の際に発生した初生地すべりを現場で実際の、地形、露頭を見ながら、初生地すべりの概要を学び、調査技術を習得することを目的に実施した。

現場講習会の前夜～朝方までは新潟地方大雨であり、当日も越後湯沢から現場までのバス移動時には雨模様であったが、現地を歩き始めると、雨もやみ時折日差しの差す絶好の現場研修日和となりました。

参加人数が 30 名あまりと多かったため、講師 1 名ごとに 3 班に分かれて、現地を目指しました。当初講師の方が下見をされた時には、バス待機場所から現地までは、中越地震時の崩壊により道路が分断されていたが、かなりの部分が復旧されており、前半は地すべり地を遠目に見ながらの前半は快適な行程であったが、目的地直前では、



写真-1 一ツ峰沢を遠景に見ながらの説明に耳を傾ける参加者



写真-2 一ツ峰沢遠景  
（中央部の平坦地が目的地）

まさに地すべり凹地の中を縦断する位置に入り込み、若干苦勞する行程となりました。

現地では、既往の地すべりおよび初生地すべりブロックの遠景および近景が観察でき、また、初生地すべりの滑落崖の状況を目の当たりに見ることにより、まさに初生



写真-3 地すべり地内の凹地  
降雨後のため、足元が悪い中の踏査状況

地すべりが地震を引き金に発生したこと、地震の威力が大きいことを感じる事が出来ました。

とくに、初生地すべりブロックの上部まで登った参加者は、地すべりブロックの3次元的な形状も確認することができ、非常に有意義だったと感じているようでした。

今回の現場講習会は、昨年11月に行われた『中越地震における災害と復旧』、今年6月に行われた『新潟県中越地震および中越沖地震の被災状況』に続く、新潟の地震災害を見学する第3弾でありましたが、前2回の研修会のように、数箇所の現場を見るのではなく、1箇所の現場をじっくりと見ることができ、加えて地すべり地特有の微地形を歩きながら体感することができたという意味でも有意義な講習会であったと思われます。

講師をして下さった井口氏、上野氏、野崎氏は改めて感謝いたします。

(文責：竹下秀敏)

～～現場講習会 参加者の声～～

### 「初生地すべり現場講習会 ー新潟県 ーッ峰沢地すべりー」に参加して

明治コンサルタント (株)

佐藤 尚弘

本現場講習会は、2004年新潟県中越地震により発生した大規模で、かつ“初生的”な「一ッ峰沢地すべり」を対象としたものです。

私は、中越地震発生後にインターネット上で、この「一ッ峰沢地すべり」の空中写真・斜め写真等を見て、今でも鮮明に覚えています。「何だこれは！ 尾根が切れている！」と、とてつもなく驚いた記憶があります。その後も情報だけは収集していましたが、今まで現場を歩くチャンスがありませんでした。そのような訳で、本講習会の案内を拝見し、本当にすぐに申し込みをさせて頂いた次第です。

さて、講習会当日の朝はあいにくの雨模様でしたが、やっと実物を見ることが出来る期待感で、天気なんて何のそのです。

集合場所のJR越後湯沢駅からマイクロバス、乗用車にて一路現場へ。バスの中で講師の方から資料の説明等をして頂きました。

さあ、現場到着です。この頃には雨も小降りに。3班に分かれて順次出発し、尾根道、ブッシュの厳しい斜面を歩くこと約1時間40分、初生地すべり（の滑落崖）が目の前に！ 再び、「何だこれは！」。

遅い昼食をとり、現場を目の前にしての講師の方からのご説明、質疑応答のあとは



フリーで各自の体力・興味による地表踏査の開始です（時間を十分に確保して頂き大変ありがたかったです）。皆さんに負けまいと、ゼイゼイ言いながら私もしっかり滑落崖が尾根を切っている最高地点まで行って来ました（もちろん観察をしつつです）。やはり、詳細な地質状況（地層の成層状況、岩相、岩質、特に亀裂の発達状況）、地形の変状状況等は現場を見ないと・・・です。大変勉強になりました。また、明らかでないことがまだ多くあることが解りました（本当に、何故ここだけで起きた？）。気がつけば空は青空。きっと参加者全員の気合いでしょう。

名残惜しいくも現場出発の時刻が来ました。「初生地すべり」をバックに集合写真を撮

撮影して頂き、帰路につきました。

本現場講習会は、岩盤の切土や斜面をかじっている私にとって本当に有意義で、かつ貴重なものでした。当たり前のことですが、色々な現場をたくさん見ることの重要性を再認識しました。

最後になりましたが、当日とても丁寧で詳しいご説明をして下さった講師の井口様、上野様、野崎様に、心よりお礼申し上げます。

また、今回の素晴らしい現場講習会を企画して頂きました日本応用地質学会・地すべりの初生と評価に関する小委員会の皆様、幹事の竹下様、田中様他関係者の皆様にもお礼申し上げます。



写真-4 初生地すべりブロックを背景に集合写真  
(写真-2 中央部の平坦地より)